



2022年度

栄養学・薬学・医学・歯学・看護学・リハビリテーション学グループ
分野連携アクティブラーニング対話集会



発言者を匿名にすることで 対話型双方向授業を活発化する試み

栄養学グループ：中京学院大学 短期大学部 健康栄養学科 由良 亮



1



授業の理想と実態



アクティブとパッシブ



- 学生の行動＝**教員の行動** 互いに創発が起きて相乗効果
- 学生の行動・・・個人差・消極的→**一方的な授業へ**



2



質疑応答が進まない理由



発言を控える理由

- 社会的な通念による理由
 - 授業を妨げてはならない：誰かが発言している間は「黙って聴く」
 - 間違いは恥：的外れな発言をすると可笑しいと思われる
 - 目上の人への発言は正しい言葉使いが必要
- 個人的な印象による理由
 - 目立ちたくない：同僚・教員に目をつけられたくない
 - 発言の仕方がわからない：どのように表現すべきかわからない



3



世代の特徴



競争の必要性の低下がもたらしたもの

- 全入時代：
 - 高校入試から志願倍率の低下
 - 主体的な学習行動の低下
- Z世代：
 - 批判・反論を恐れる・・・人格否定と感じる→発言そのものを控える
対面（仮面）・・・SNS複数アカウント（用途別人格：本音）



発言者を特定できない状況なら発言可能



4



発言を促すための方法



- 授業を妨げない テキストメッセージ
- 発言の仕方がわからない 他の人の発言を共有
- 発言が恥ずかしい 発言者がわからないように
- 主体的に学習行動をしない 発言に明確なインセンティブ



シラバス記載内容



- zoomのチャット欄に適宜コメントを入れてください。
- この機能で課題を実施することもあります。
- レスポンスがない日は Activity を評価できません。

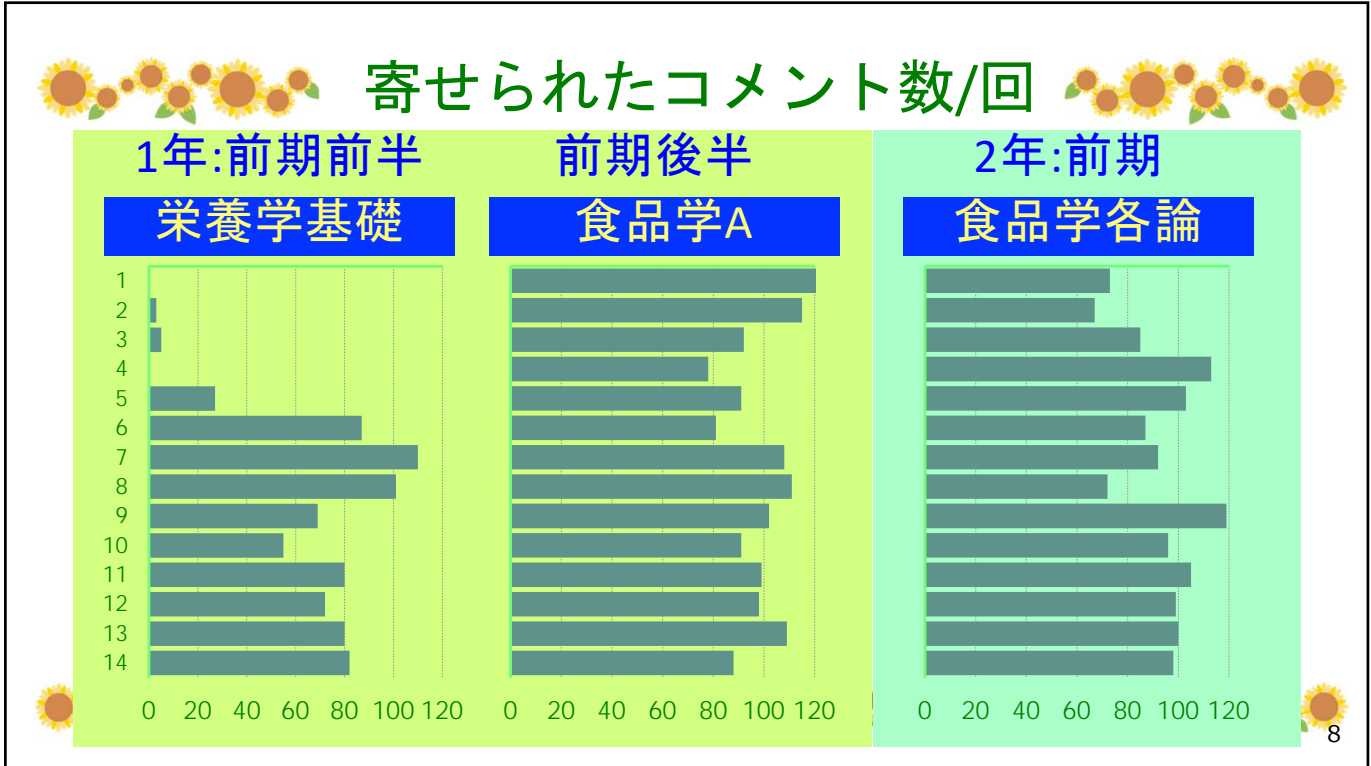
Activity = このコメントの回数・内容

- 素朴な疑問
- 興味深い話題
- 考え違いをしていたこと
- 感心・面白い・びっくり・初めて聞いたこと

などなど感じたことを何でも構いません。

共有することで、互いの考えを知り、より皆さんの見識を広げることになります。







匿名コメントの効果



アンケートの選択類似性による関連性

授業に参加している実感がある (25/40)

知識の広がりを実感 (26/40)

新たな「気づき」を覚えた (21/40)

みんなと一緒に勉強している実感 (10/40)

勉強している実感 (18/40)

聞きたいと思ったことを言ってくれる人がいる (25/40)

気軽にコメントしやすい (27/40)

思いもしないことを考えている人がいる (35/40)

自分のコメントに返答があると嬉しい (23/40)

